

 RECRUIT ×  indeed



Global Engineer
Internship

自分の書いたコードが

世界の1億4000万人に

影響を与える

インターンシップ。

インターンシップの特徴

01

1億人を超えるユーザーアクセスを処理するサービスの裏側の仕組み、開発の進め方を知るまたとないチャンス！！インターンの方々にも社員と同様にIndeed社の実際に本番で使用しているコードにアクセスして頂き、エンジニアとしてサービス開発に携わって頂きます。過去にインターンの学生が作ったサービスがプロダクトとしてユーザーに提供されたこともあります。

02

手厚い育成フォロー、ソースコードレベルでのアドバイス。現地ではメンターとなる社員からだけでなく、同じチームの開発者、チーム以外開発者からもフィードバックをもらいながら取り組むことができる環境です。エンジニアとしてのスキルを飛躍的に上げることが可能です。

期間

8/18(月) ~ 9/26(金)

※8/16(土)渡米、9/28(日)帰国予定

※スケジュール・英語の問題で6週間のインターンシップへの参加が難しい方に対して"1週間程度(予定)のオースティンツアー"も予定しておりますので、ご都合のわからない方、英語力に自信のない方も是非ご応募ください。

資格・対象

● 学年不問

● 下記の経験を有する方

必須となるスキル・経験

- ・Javaでの開発経験(JSPやservletを含む)
- ・コンピュータサイエンスの知識

望ましいスキル・経験

- ・Linux環境での開発経験
- ・意味抽出、分散システム、アルゴリズムデザイン、並列処理、スレッドプログラミングの開発経験
- ・Javascript、C++、Python での開発経験
- ・HTML、CSS、HTTP などの知識・開発経験

以下に該当する場合はご参加頂けませんのでご了承ください

- ・パスポートをお持ちでない方で6月30日までにパスポートを取得頂けない場合
 - ・理由如何によらず、渡米までに入国許可が下りない場合(ビザ・ESTA等)
- 申請手続きに必要な書類につきましては、応募者に詳細をご案内させていただきます。

報酬

報酬：日当1.5万円×30営業日

※オースティンへの渡航費、現地での滞在費は弊社にて負担いたします。

選考の流れ

プログラミングテスト

6/15(日)~6/23(月)



ホワイトボードコーディング面接

6/23(月)~6/27(金)



※昨年はオンラインで実施しました

合格通知

6/30(月)



<選考時の交通費支給について>

- ・原則として支給無し
- ・但し、エントリー時の現住所が下記に該当する場合のみ支給

【東京会場】1都3県(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)外からお越しの方

【大阪会場】2府4県(大阪府、京都府、奈良県、兵庫県、和歌山県、滋賀県)外からお越しの方

エントリー締め切り

6/20(金) 23:59

※インターンシップへの応募や参加は採用選考活動とは一切関係ありません。



リクルートのビジネスは、進学・就職・結婚・住宅購入など、ライフイベントの領域から日常行動の領域まで大きく広がっています。その多様な情報をインターネットサービスなどの最適なチャネルで届けます。

【グループ従業員数】
25,518名(2013年3月末時点)

【事業拠点】
国内59社、海外50社(連結対象子会社2013年3月31日時点)

【連結売上高】
10,492億24百万円(2012年4月1日～2013年3月31日)

WEBサービスが 「まだ、ここにはない、出会い」をつくる。

リクルートグループは企業(クライアント)と生活者(カスタマー)を、様々なメディアを通じて結びつけています。カスタマーには、本人も気づかない新しい発見や可能性を提供。その人らしい最適な選択と意思決定のサポートをしています。一方、クライアントには、まだ見ぬカスタマーとの出会いを提供。カスタマー視点を大切にクライアントの事業発展のために伴走しています。

IT企業として、グローバルNo.1を目指す

「グローバルHR No.1」と「アジア販促No.1」の実現が、リクルートグループの中期的な戦略ビジョンです。HR領域では、北米を中心に派遣事業、アジアで紹介事業を展開。販促領域では10月からアジア販促準備室を設置。中国において住宅サイト、インドネシアで旅行のサイトをJV方式でスタート将来的に目指すのは「全領域グローバルNo.1」。世界の人々を動かし、世界中でスケールするサービスをつくり形にしていきます。



Indeedはグローバルで最大級のユーザー数を誇る求人専門検索エンジンを運営しています。あらゆる求人サイトから求人情報を抽出し自動生成するというアグリゲート型検索モデルを導入。月間1億人以上のユニーク・ビジター数と約1,600万件の求人検索数を誇ります。2012年10月、リクルートグループに仲間入りしました。

エンジニア主導、Data Drivenな意思決定が、 オンラインHRの世界を変える。

『グローバルHRNo.1』を目指すリクルートが世界55ヶ国、28言語、月間1億以上のユニークユーザーを誇る世界最大級の求人検索サービスを提供するIndeedを仲間を迎えたのが2012年。Indeedが大切にしているのは「Log Everything, ABTest Everything」という考え方。常時100以上のテストをしながら、あらゆることをデータで検証して確かめ、より最適なものを選択しています。全てを決めるは、経営者でもなく、クライアントでもなく、エンジニアが導き出した「データ」なのです。さらに機械学習型アルゴリズムによって高速で最適化。そんな「Data Driven」な意思決定で合理性とスピードを実現しているIndeedと世界を視野に入れた「オンラインHR事業」を共に磨き上げていきます。

世界を変えるサービスも、 エンジニアが評価される社会もつくりたい。

2013年8月、Indeedの開発手法をリクルートグループへ伝える第一歩として、東京にIndeed Tokyoを設立しました。海外で開発したサービスを日本に持ち込んでローカライズするわけではありません。Indeedからプロダクトを切り出し、東京のチームから全世界のユーザーが使用するプロダクトをリリース。日本発、世界を変えるサービス開発を目指すため、Indeedが追求し続けているエンジニアがリスペクトされる環境づくりをIndeed Tokyoから発信していきます。



Message from Doug Gray

～ Doug からのメッセージ ～

Indeedにくるインターン生達には、3つのことを達成してもらいたいと思います。

- 1) 各自で有意義だとおもう課題を見つける。
- 2) 大学のコンピュータサイエンスの授業と同等以上の技術や経験を身につける。
- 3) 高い頻度でデプロイを行い、データ駆動型の組織とはどういうものかを理解する。

これらはIndeed以外のインターンシップでは得られない経験だと思います。あなたが「無理だ」と思うような課題を解決するよう言われることもあるかもしれませんが、周りには助けてくれる人は大勢います。これはまさにIndeedの組織文化のひとつなのです。私達は素晴らしい才能を持ったエンジニアを受け入れると同時に、彼らが最高のパフォーマンスを発揮できるようにサポートします。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

For each intern who comes to Indeed, we have three goals:

- (1) Create something which you find meaningful.
- (2) Learn as much or more over the course of the internship as you would from a university computer science class.
- (3) Develop an understanding of what it is like to work in a rapidly iterative, data-driven product development organization.

This is an experience that is quite different from most internships. You will be asked to do things that you didn't think you could do yet - but you will be surrounded by people who will help you. This is consistent with Indeed's organizational culture: we hire incredibly talented engineers and we take seriously the obligation to help them become as valuable as possible.

I look forward to meeting you.

indeedでの一日

A.M.



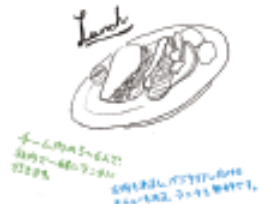
送迎バスに乗って
ホテルから出発

会社に到着して
朝食をとる

タスクを確認して
当日のスケジュールを決める

メンターと
ペアプログラミング

昼食



参加者の声



ソースコードは、
世界で通じる共通言語。

世界に飛び出して、
変化のスピードを体験する。

大学での研究が、
自分の仕事になった瞬間。

モバイル版アプリから、フロントエンドサーバまでを担当するチームに入りました。少々、英語が下手でも、チームとのコミュニケーションはソースコードという共通言語が補ってくれるので、困る事は少なかったです。ソースコードについては、担当するチーム以外のコードも全て追うことができる仕組みになっていました。気になった部分は変更時のレビューまで含め、どのように動いているのかを知ることができました。また、議論した内容がすぐに、世の中で実際に使われているサービスに反映される。緊張感はあるけれど、すぐに反応が見える楽しい環境でした。

とにかく変化も動きも早くて驚きました。なにせアメリカに着いて2週目には、自分の書いたコードが世界中で使われるサービスの中で動いていましたから。Webサービスらしく、まずはコードを書いて動かして、それを元にアイデアを吟味していくやり方です。そして出てきたアイデアを実現するための体制もありました。自分の書いたコードが実際にデプロイされるまでのプロセスを、じっくり体験する事ができて非常に勉強になりました。

私が担当した仕事は、企業の求人情報と求職者の履歴書の類似度を計算してマッチングするモジュールの実装。自然言語処理や機械学習を活用したモジュールです。私は大学院でこれらの分野に近い研究をしていますが、こんなにもすぐに活用できる機会が来るとは思っていなかったのが驚きました。

P.M.



13:30

チームでの
ミーティング



14:30

コーディング



16:00

並列計算している
合間に卓球



17:30

メンターに
今日の進捗を報告する



18:30

晩御飯



19:00

チームメンバーと
遊びに行く



どうしても仕事で
疲れていて
チームで食事を
取りたい。

もちろん、自分の
成長のためには
必要です。



プロジェクトの規模と インパクトに圧倒される。

私が主に関わっていたのは検索に関するインデックスの高速化。ユーザーが検索をすばやく行うため、サーバー側でデータを管理するインデックスが必要となります。Indeedでは最新の仕事情報を常に提供するため、かなり高い頻度でインデックスを更新しています。しかし、更新にかかる計算資源が非常に高いという難点を抱えていました。私に与えられたのは、この計算資源を節約する手法の実装。メンターとディスカッションをしながら、課題をいくつかの小さい課題に分割。それを1つずつ実装していき、最終的には満足のいく改善をすることができました。

コミュニケーションを 重ねながら作り上げていく。

仕事の中で、前任者が書いたソースコードの一部を変更する必要がありました。それぞれのモジュールがどう動くのかを正確に把握するため、前任者と話し合いを重ねる必要がありました。また実装しているコードが正しい動きをするかどうかをメンターにチェックしてもらうことも多く、細かい仕様を決める必要もありました。ほとんどの場合、英語でうまくコミュニケーションをとることができましたが、口頭で伝わりにくいときはホワイトボードに書きながら、話し合いを重ねました。

自分の技術に自信を持てた ことが、一番の収穫。

このインターンシップに行くまでは大学でやっている研究と実際の仕事の繋がりがいまいち掴めませんでしたが、この経験を通じて自分の勉強や研究と仕事を関連付けることができました。この経験は自分の技術に対する自信にもなりましたし、これからの大学での活動の指針にもなりました。また、自分の英語が仕事でも使えるんだと分かったことも、大きな収穫となりました。



RECRUIT HOLDINGS
SUMMER INTERNSHIP 2014 SITE
<http://recruit-jinji.jp/intern2014-engineer/>

2013インターンシップ参加者からの挑戦状
プログラミング問題掲載中

SPECIAL SITE
#RECRUIT_CODE

http://recruit-jinji.jp/intern2014/recruit_code/